’14 のべおか
第九

のべおか第九だより（第517号）
2014年12月12日 (金)

○発行　のべおか「第九」を歌う会
○事務局（延岡総合文化センター内）
〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2
電話 (0982)22-1855
ホームページ http://www.**dai-9.info**

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。----

本日の内容
- ■ 合唱幻想曲　□ 聖夜
  第九
- ■ A (237～330小節) p.9～18
- ■ B (411～654小節) p.21～35
- ■ C (655～762小節) p.35～47
- ■ D (795～920小節) p.50～63

12月13日は明日です!

前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
♦ ソプラノ	30 人	17 人	56.7%	67.9 点
♥ アルト	56 人	39 人	70.0%	66.6 点
♣ テノール	20 人	12 人	60.0%	76.9 点
♠ バス	22 人	14 人	63.6%	71.1 点
● 合計	128 人	82 人	64.1%	69.7 点

♫ 森口先生の2回目の直接指導

前回より具体的に感情のこもったご指導

@「合唱幻想曲」編

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!）

★ 443 【お話し】今日は昼間、大分第九でも指導をやってきまして、こちらにやってきました。この前、学校に「先生こんなの出てますよ」と記事が回ってきまして、すごい顔写真!? もうちょっとにこやかな顔写真、なかったの?? ウォー!! みたいな…ま、いいんですけど。はい、いよいよ来週ということになりました。最後のチェックということで今日も気持ちよく歌いましょう。しかもピアノのソリストが予告なしに来てくれています。僕は今日、初めてお会いしました。事前にお会いできてよかったです。

★ 444 【お話し】(前半を歌って)…ニコニコ笑う必要はないんだけど…なんかねぇ…硬いんだなぁ…この歌は高らかに理想主義を歌って観念的な言葉が並んでるんですけど、ま、とにかく素晴らしい芸術…神が贈ってくれた…そんなことを言ってますよね。“Gei - ster - chor,”(451,452)は我々のことだと思えばいいですね。“精神の合唱”。…考えたらよくわかんないんですけどね。ドイツ人好みの言葉だと思いますよ。なんせ観念哲学がめちゃくちゃ発達している国ですからね。これはその観念的な言葉ではないんだけど、確実に美しい何かを歌ってますよね。みなさんの歌い出しからそうですよね。“Gro - ßes,(偉大なるもの)”。上の空間に理想的なものがあってそれに向かって歌う。最初っからそういうイメージを持って。表情というのは…ニコニコじゃないんだけど…誇らしげと言ったらいいんでしょうかね。そういう全幅の信頼をおいている感じがする理想主義。人類はそれによって絶対進歩するんだ! かえってだから今の世の中には響くのかもしれません。それを皆さんもっとイメージすると晴れやかになってくると思います。今、見ているとだんだん眉間にシワが寄って…

● 463 【nehmt〜】“良き魂を…”という呼びかけですね。自分だけではなくてその理想主義をみんなに分けてあげよう…というちょっとおせっかいな所なんですけど、“nehmt hin, ihr schö-nen See-len,”、全部“…n”で終わってますよね。見ていると口をつむっている方がいます。絶対つむってはいけません。

★ 463 【お話し】私、オペラで舞台語を身につけているドイツ人の稽古指導をつぶさに見て経験してきたわけですけど、“…n”なんてビックリするほど強調しますよ。

● 465 【schö - nen〜】“schö-nen See-len,”、言ってみてください。“schö-nen See-len,”まっすぐですよ。そして休符が入っていますから、もうちょっとだけ…でも短いと思わないでください。隙間があると思えばいいかな。

● 482 【Nehmt die〜】 ここからの旋律はものすごく美しいですよね。ここ来たらもっと味わってほしいんだけどなぁ。もちろん合唱で揃って歌いますから、こんなことはできないですけど(笑)。ちょっと問題はあるんですけど、(心の)中では動かしてもらいたいんだけどなぁ。俗にこの曲は駄曲駄曲だと言われていますが、ちょっと変な編成だけど良い曲ですよ。

● 490 【Kunst, froh die〜】 速くなったところ、みなさん準備が遅い!? びっくりした表情で歌い始めている。「ココだ」という確信を持って “froh die Ga -ben, …”、“Nehmt denn …”所定の場所、ココしかないという。「あぁ、あった…」という感じ、そりゃダメだな。

○ 519 【lohnt dem】 ここに入る前がちょっと休みすぎています。休み、これは一瞬で1小節もない。それと言葉。“l…”舌が上の歯茎の付け根に付きます。

● 566 【Kraft,〜】 “Kraft,”という言葉、力強くは皆さんあるんですけど、ちょっと短くなりすぎている。“クラ…?”、“クラフトゥ! ”。もちろん長くはしませんが、やっぱり重要なのは母音の中身ですよね。“Kraft,”の“a”がしっかり“ア”となっていないと音楽にならない。“a”を響かせることが大切です。

● 591 【Göt - ter -〜】 最後に“Göt - ter -”という言葉を2回繰り返します。何ども言ったと思いますが、ドイツ語の“ガギグゲゴ”は我々と違って必ず正確に“ガギグゲゴ”と入れます。“Göt - ter -”、今のじゃ弱いんですよね!? “ンゲ…”になっちゃっててダメです。必ず“ゲ…”を入れてください。

○ 592 【Göt -】 最後の言葉“Göt - - - - - ”これ、今の歌い方だと抜けて聞こえちゃうんですよね!? 抜いているわけではないんだけど、同じ音量をキープしても聴き手には残念ながら減衰にしか聴こえない、dimに聴こえてしまう。逆です。最後に目をいっぱつ開いてください。そういうふうに歌わないと最後が抜けます。今のみなさんの表情は同じままでちょっと恐いです。何も書いていないから同じということではない。最後は動かしてください。

★ 【お話し】これは合唱団は譜面を見て歌うんですか? …暗譜! じゃあと1週間ありますから…覚えたほうが歌いやすですから。でも逆にちょっとでも不安とか残しちゃうと悔いを残しちゃうことになりますからね。暗譜をやるならやるで、しっかり覚えちゃいましょう。

@「第九」編

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話

（ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!）

● 257 【Dei-ne Zau-ber〜】 …(通して歌って)オケより先いくのはなかなか珍しいことなんで!? (笑) まあ遅れるよりはいいんですけどね、ちょっと走ってましたね。アグレッシブすぎます。

○ 257 【Dei-ne Zau-ber】 “Dei-ne Zau-ber”もこれ第一声ですから、“ギャー”って音になりがちなんですけど、そうじゃなくて各自とにかく表情をしっかり作って、ここしかない! という“Dei-ne …”のタイミングを狙って…それだけでいいです。必要以上に“Deine …”とやらないでください。そして今から…ここは本番の会場ですから、そのまま正面を意識しておきましょう。どうしても私のほうを見ちゃうんだけど、指揮者のほうは向かないでください。各自の正面!! お金払ってるの、お客さんです。僕は払っていませんので(笑)。それぞれの立ち位置でまっすぐ…会場の非常灯の緑とか…座席のなんでもいい…。
……はい、今の素晴らしい。十分です。今の歌はねぇなんか一気に知能指数が50ぐらい上がった感じが(笑)ごめんなさい、相変わらず悪口云って…別に低いとか…あ云ってることになるんでしょうかね(笑)。

● 264 【Flü-gel weilt.〜】 (ここまで歌って) あとはこの舞台に乗った時点で俳優・女優であるべきなんですね。あとは歌った時はいいです。歌った直後、最低2小節は余韻を確認してください。“…weilt.”の“…t.”と言ったのが…発散していくのを見届けてからソリストを聴くほうにまわる。今は下を向いたり譜面を確認したり、歌うほうと違うほうに行ってる!? それはなし!! 歌っていないところもコントロールするということが大切です。演じてください常にです。

○ 284 【Ja,】 “Ja,”が浅いですね!? 喉の下あたりから“Ja,”!! 声がこもっちゃだめですけど、内から来るわけです。

○ 291 【wei-nend sich aus】 もうちょっとレガートにいけますかね!? “sich aus”!? “…ヒ…”が入ってないですね!? “ジヒ アウス”。そしてここは“泣きながら去っていく…”という歌詞と相まってベートーベンはdim.書いてますから、さっきdim.は出来てましたが硬い言葉になると言葉が聞こえなくなって!? 逆です。小さくなったら余計レガートで“wei-nend sich aus…”聞かせないとダメです!!

○ 292 【die-sem Bund.】 “Bund.”の“…d.”と歌ったら、2小節は体制を作り続けてください。“Flü-gel weilt.”（264)と同じです。……ほら! やっぱり動いている人がいる!? 作る!! 余計な動き入れない、言葉と音楽に集中してあとはオケを聴いてソリストの歌詞を聴いて、要するに漫然と譜面を見たりフッ…と気を抜く瞬間は一瞬もないわけですよ。聴くということも大切な仕事ですね。

● 313 【Küs-se gab sie〜】 “K…”は“ガギグゲゴ…”の話をしましたが、要するに“G…”が無音化したもの。“ガギグゲゴ…”は有音子音ですが無音化したのが“K…”です。どっちもきついですね。“ゲ…”“ケ…”どっちにしろ日本人はそれを強調しないんですね。相当怒っても言わないですよねぇ「なんだ“こ”

の野郎!」とかね(笑)。だけどドイツ語は違います。ちゃんと言わないとだめです。“Küs-se”それを待ち構えておいてください。そしてたまたまですけど“K…g…”、“キ…ガ…”(無声子音と有声子音)。特に無声のほうが息が作りやすいですから出やすいとは思います。ここはベートーベン特有の非常に攻撃的な音楽ですね。ですからここはへこたれないように、前半のちょっとしんどいところです。ソプラノは音も高いですし、どんどん合唱が遅れますから常に戦闘状態で。

○ 313 【Küs-se gab sie】 “K…”は“ガギグゲゴ…”の話をしましたが、要するに“G…”が無音化したもの。“ガギグゲゴ…”は有音子音ですが無音化したのが“K…”です。どっちもきついですね。“ゲ…”“ケ…”どっちにしろ日本人はそれを強調しないんですね。相当怒っても言わないですよねぇ「なんだ“こ”の野郎!」とかね(笑)。だけどドイツ語は違います。ちゃんと言わないとだめです。“Küs-se”それを待ち構えておいてください。そしてたまたまですけど“K…g…”、“キ…ガ…”(無声子音と有声子音)。特に無声のほうが出やすいとは思います。息が作りやすいですから。

● 315 【ei-nen Freund, ge-〜】 “ge-prüft”は、“ゲ プリュ…”ではなくて“ゲプリュ…”と繋がります。

○ 315 【ei-nen Freund, ge-】 “ei-nen”の“…n”が抜けています!?

○ 316 【prüft im Tod; Wol-】 “im”は口をつむる。

○ 318 【Wurm ge-ge-ben,】 “Wurn” の“…r…”は無理に入れないでください。そのかわり最初の“W…”は下唇で“ヴ…”とやってください。

● 321 【und der〜】 音の間、抜けすぎです!? 隙間があるだけ。抜かない!! 休符あると思わない、ベートーベンはスタッカート書いていますけどスタッカートとも思わない、隙間があると考えてください。まっすぐな音が必要です。

● 330 【Gott.〜】 “Gott.”の“…t.”は今の長さで良いです。でもこの前の“…Gott,”(326,328)はオンザビートもってきてくれますか。というのは3回目の一番重要なここの“Gott.”の息が、さっきのだとちゃんと吸いきれてないからです。3回目のここは十分な時間をかけて柔道でいったら帯を締め直してほしいんですよね。それで息を吸って身構えてください。3回目のここはそうじゃないと無理です。そのためにはこの前の2回が長すぎちゃだめ。“ゴーット”にしてください。“ゴーォット”は最後だけ。……本番はもうちょっと伸ばすと思いますから、しんどいと思いますよ。そしたら最後は目をあとひと開きしてください。そうすると出ます!! 絶対どこかには予備のパワーがあるんですよ。それを最後は目覚ませるんです。そのためには目を開いでください。試してみてもいいですよ、死者が出たらいやですけど(笑)。同じ音量で出しているとdim.に聞こえますから最後はひと動かし“ゴーーーォット”。やってみましょうか、最後の“Gott.”は気合を入れ直して帯を締め直す、そして会場の酸素をすべてちょうだいする。それが必要です。
……なにか左(ソプラノ)のほうから爆発的な何かが感じられました!! (笑)。

● 411 【Lau-fet,〜】 巻き舌ができる方はどうぞ惜しみなく(笑)やってください。ドイツ語の舞台語は必要です。特に“freu-dig,”(424〜426)、“Bru-der,”(412)もそうですね。女性パートも前半でキーワードで出てきます。大切な言葉なのでどうぞ巻いてください。日本人はよく外国の指導者から言われますけど「巻け、巻け…」当初巻いても常に巻き続ける習慣が我々にはないので、どうしても薄まっちゃうんです。必ず巻けるところは巻いてください。よろしく…

○ 411 【Lau-fet,】 ちょっと立ち上がりが遅かったですね。遅くならないように。

○ 417 【Held zum_】 これは“Held”、“zum_”というように分けて歌っていると思うのですが、休符があります。でもあると思わずに普通に分けて歌えば自然に休符が生じます。休符を入れようとすると短く感じちゃうんですね。だから休符がないものと思って…

○ 431 【--gen!】 “…n!”(口をつむらない)。ドイツ語の歌の場合は“…n”で終わるものが圧倒的に多いですね。動詞はみんな“…n”で終わりますからね。だからちょっとでも口をつむっちゃうとわかっちゃいます。

● 543 【Freu-de,〜】 何人の方かが(巻き舌)巻いてくださるだけでだいぶ違います。それから本番まで、もう覚えたと思うんですが、覚えたら覚えたでちょっと落とし穴がありましてね。だいたい音程と言葉は覚えるんですけど、ダイナミクスを忘れることが多い!? あと1週間ね、理想を言うと1日1回どこかで譜面を書いて思い出すということをやっていただきたいんですけど、特にここの部分は sf ね。その音だけを強くというのが何箇所かあります。それから“al---le Men-schen (全人類)”というときに必ず ff が書き加えられています。これは当然ベートーベンの意図がはっきり出ていますよね。“全人類”というときに必ず ff これを含めて頭に焼き付けてください。そこまで出来て初めて暗譜といいます。当然、だから“Brü-der,”という言葉に sf が付いていますよね。あと sf が付いているのが“feu-er-trun-ken, (火のような飲み物)”、“Hei-lig-tum! (聖域)”、“E-ly--si-um, (楽園)”もそうですね。“E-ly--si-um,”と“Hei-lig-tum!”は似たような言葉。“桃源郷”とか“王国”とかね。そしてさっきから云ってる“人類は兄弟”の“Brü-der,”、以上の言葉にぜーんぶ sf 。これを押さえてください。

★ 543 【お話し】それから本当に僕のことを一生懸命に見てくれているのはうれしいんですけど、見るのは正面です。お客さんに…まっすぐ客席を見つめてください。自分の見つめる場所を決めておいてください。当日はオケも入ってリハーサルがありますし、本番、1楽章から3楽章までお座りになっていると思うのですが、まずは入って立った時に「よし…あそこ!」と決めてください。

● 609 【gan--zen〜】 “al---le Men-schen”に対して“gan-zen Welt!”。当然そこで ff になってるわけなんですけど、“-zen”に行く前にわずかにへこたれちゃうんですね!? 引かない!! “-zen”の前に力が抜けないようにしましょう。
……“gan”と“-zen”はどのパートも同じ音程です。でも同じ音で“gan-zen”と思っちゃダメですよ。同じ音だけど、“gan”を“-zen”が乗り越えていく。同じだと一瞬隙間が開いちゃうんですよね。乗

り越えるときに体使わないとダメですよ。イメージだけだと乗り越えられないです。あと1習慣です!! 覚えておいてください!!! 終わったら忘れていいです(笑)。

● 622 【zelt muß_〜】 “一人の全能の神が天の世界におわしますに…違いない”、の“muß_”です。だからこの“muß_”はとっておきですね。だからベートーベンはこれも sf 。それがちょっとね、焦点が合ってない!? “zelt ”で構えなおしてください。“muß_”と繋げない、だらだらと飛び込まない、必ず切ってください。長さはいろいろあれど、ソプラノは休符がありますから作りやすいと思う。

● 633 【Mil-li-〜】 どうしても cresc. が出にくい!? 音が低いというほがあるんですが、ここは cresc. を意識的にやるんだという意志を持ってください。各人が「あと数%やるんだ」という思いを強くすれば絶対できます。なんとなくではなく確実にやってください。
……cresc. だいぶ良くなりましたが、ちょっと気になったのが“…li…”までスタッカート付けちゃってる人がいる!?

○ 635 【Ah-nest】 休符の間に体の力が抜けてます!? そうすると“Ah-…”が低くなります。お腹の力というのは重要。これは抜かない。ただ準備のための空白があるだけ。

● 638 【Welt?〜】 “Weit?”は長く引っ張らない!! 長く歌ってしまったら“Such' …”の用意、全然できません。時間をかけて開けて最高の“Such'”を。ここの休符をもっと活かさないと。

○ 639 【Such' ihn】 “Such' ihn…”力を緩めないでください。

○ 646 【woh-nen,】 “…n,”、歌い終わってもこれを作り続けてください。動いちゃだめ。特に動けないのがここ。不協和音です。凄い神秘的なところです。

● 655 【〜】 ここからの più f が付いた“Freu-de!”、これは非常に特徴的なところ。他のパートも più f 効かせたい。ソプラノ(664,)、アルト(672)、テノール(680)、バス(694)。それらの前、やっぱり皆さんは準備が足りないですね。もうちょっと重いものですね。なんでもいいですから持って…ボン…と落とす感じ。落とすと反動があるでしょ。それがこれのリズムになるんです。力を入れちゃうとリズムは死んでしまいます。でも各パートが全然別なことをやってますからほかのことを全部振ることはできないんですけど、ここはいつも絶対出しています。
……もう1個違うほうね。これも全員共通で回ってくるんだけど、“Seid_ um-schlun-gen, Mil-li-o-nen!…”もちろん頭をつけないとメロディラインが立ってこないんだけど、そればっかしだと中身が抜けちゃってるんですね!? “Seid um schlun gen, Mil li o nen!…”って切れて聴こえます。中身を入れてください。少し長めを意識してください。各パート共通です。アルト(655)、テノール(662)、ソプラノ(678,)、バス(702)。

……それと“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,_”ちょっとつんのめってる!? テンポを慌てないように気をつけましょう。

♦ 700 【Seid_〜】 ソプラノ、低い!? それはね、意識的にアクセント多めにしておいてください。“S…”の子音の発音。このあとの上がったときの“Seid_”(704)は大丈夫。聞こえる。ここからバスの“Sei-d_”(702)に行ってソプラノに戻る(704)というのは是非聴きたいところなんです。よろしくお願いします。

● 730 【Ihr stürzt〜】 ちょっと2分音符が短すぎますね。休符は隙間がある程度だと思って、一直線につなげる。道を一つにつなげる。小節線も消してほしい。

○ 745 【zelt! Brü】 勢いで“Brü-der!”に入ってほしくない。ここまでは神秘的というか、決して明るくはないですよね。少し謎めいている。“Ihr stürzt nie--der, Mil--li-o--nen?”はcresc.して入る631小節に対応しますね。やっぱりここもちょっと神秘的で…ここの前はフーガでワーッと明るく歌ってたでしょ。それに「あんまり調子に乗ってるんじゃないよ、人類」って警鐘を鳴らす的なところがありますね。もう一度謙虚になれということですね。自分よりカテゴリーが上の創造主を想像せよ。もう一度ひれ伏せ。それが“Ihr stürzt nie …”です。もう一度詰問しているわけです。でもそれが到達した時に“Brü-der! Brü-der!”とガーッと変わるわけ。まったくもって人間的な親愛に満ちた呼びかけにここで戻るわけです。…わかっていただけると思います。今、皆さんはそこ勢いで行っちゃってるからね、詰問モードで行ってください。ここで一瞬で変わるんですね。これがベートーベンの天才たる所以です。これは実際難しいですが、ぜひ挑戦してみましょう。“zelt! … Brü”ちょっと時間もかけましょう。

● 749 【ü〜】 さっき643小節で“Ü-berSter-nen muß er woh-nen,”と歌ってたものがここはもの凄く優しく“ü--ber'm Ster---nen-zelt muß_ ein lie-ber Va-ter woh-nen, …”こういうところが凄いところ、同じ内容をこんなに違う表現で…恐ろしい。ベートーベン、なんという天才でしょう!! なかなか技術的に追いつかないところはあるかもしれないけど、皆さんはそういうことを…まずは理解して共有して共感してみてください。

♡ 753 【zelt muß_】 アルトだけ“muß_”動くところあるでしょ。それアルトの特権ね。“特権”って書いておいてください(笑)。これはほかのパートには譲っちゃダメですよ。最高ですね。良い曲だなぁ…

○ 810 【Men-schen wer-den】 “Men-schen”は急に小さくなって聞こえるんですけど、これはdim.です。すぐ抜かないで柔らかく2拍目に行ってください。……“wer-den”にcresc.がありますよね。そういうところもチェックしましょう。

○ 813 【Flü-gel weilt._】 “weilt._”の切るタイミング、確認しましょう。

○ 830 【Men-schen,】 “Men-schen,”の切り方、次の“Al-le Men-schen, …”ソロを邪魔しない。すぐに“…n,”に入って3拍目には引き上げてください。口をつむる時間ないです。“Men-schen,”の“M…”を言う時だけです。

○ 915 【Toch-】 “Toch-”に入るのがズレてる!? ここも一点、ここしかないというところを狙わないと。このタイミングは必ず指揮で出してますから、コンタクトとってください。

○ 920 【fun-ken!】 最後の“fun-ken!”は慌てない。この前と音符の書き方が変わっていますが、基本のテンポは一緒。確実に行きましょう。最後、あわてちゃうともったいないですね。……“フンケム”じゃない“…ン”(口をつむらない)。象徴的ですね、最後も“…n!”で終わる。

@「聖夜」編

○ 1 【Si - lent night】 全然“Si-lent”じゃない!? これは第九の最初と違って少し内向きで良いですよ。自分の声を聴いてみましょうか。

○ 1 【きーよ しー】 今日も大分で稽古があったのですが、ここから転調するという…オーケストレーションは共通ですよね。たぶん1こ下がると思うんです。……下がった分、かなり暗くなっています!?

○ 3 【ほーし はー】 “ほし”というとき表情は予測してその前から。…強く歌うわけではないですよ。やっぱり明るくピカッとならないと。

○ 7 【みーははー の】 “みーはは”の“み”は、“御”という字ですよね。それもっと大切に。この前の“みーこ”の“み”もそうです。“御子”ですよね。

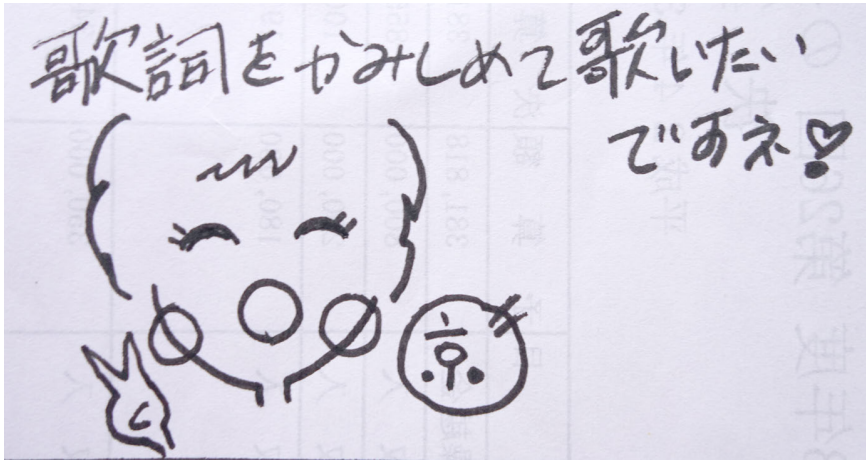
○ 11 【ゆーぅめ やーぁす】 “ゆめ”という言葉は立ちにくいです。日本語で普通に言うと“ゆ…”浅い!? 必ず“ゆぅめ”にしてください。

★ 11 【お話し】案外これがね、我々の言語である日本語はかえって簡単だから、つらつらつら…っと記号的に喋っちゃうんです。改めて意味を考えて。

◆もうすぐ本番か…と思うととてもこわいですが、CDをききこんで練習をおもいだして頑張ります。

◆この一年はあまりにもバタバタしすぎて「あっ」という間に本番

が目の前という感じです。指導していただいたところをきちんと歌えるか不安ですが頑張るきゃないよぉ(セロ弾きのゴーシュ)
♦練習のあるたびに先生方のお教えが勉強になります。今日はまた森口先生のご指導が前回ともにすばらしいです。
♦森口先生の情熱あるご指導ありがとうございました。お疲れ様でした。今晩復習して習得したいと思います。あと6日、健康に留意して本番に臨みます。(m♪)
♦“第九だより”毎回ありがとうございます。団員係さんお疲れ様です。楽しい練習でした。(und Kraft)
♦早や師走。いよいよ本番が近づいて来ました。体調を整えて備えましょう。(プンちゃん)
♦いよいよ12月です。今回練習に出席できない日が多くて残念でした。
♥スゴクわかりやすくていねいに教えて下さって楽しい! 森口先生ブラボー!
♥あっという間の本番です。後悔のないよう歌いたいと思います。(5年生)
♥風邪をひかないよう本番にそなえるつもりです。
♥一週間声を出してせいいっぱい歌いたいです。
♥今日はとてもよかったです。(アッちゃん)
♥頑張りましょう。(日向キルトママ1
♥本番まで1週間。体調に気をつけて本番迎えましょう。
♥あと1週間!! Fight--!
♥初めて森口先生のご指導を受けました。すごく気持ちよく上手に歌えるようになった気がしました。(ももにゃん)
♥ますます難しくなりました。でも楽しいと思います。参加して良かったと思っています。頑張りましょう。
♥今回はあまり練習に参加できなかったのですが、参加して大丈夫でしょうか。(すずめ)
♥森口先生のトークについつい吸い込まれて
♥森口先生の指導、大好きです。楽しい!!
♥今年は初めてなので、みなさんに迷惑にならないように歌いたいと思ってます。
♥森口先生のご指導は楽しくわかりやすくしっかり歌えました。有難うございました。(ヨッチン)
♥本番間近ということがひしひしと感じる練習で意識も高まりこれじゃ〜いかんという思いとあともうすこしという思いが入りまじった練習でした。森口先生がのり移ってきそうな迫力でした。ありがとうございました。(のりちゃん)
♥体調管理のみです。頑張りましょう。
♥森口先生の熱ーぃご指導に添えられるように頑張ります。
♥森口先生のご指導に本番のイメージがわいてきました。本日は出席者も多く迫力を感じました。体調管理につとめ本番を迎えたいと思います。



♣いよいよ本番!(T.Kawa)
♣本番大成功まちがいなし!(歌太郎)
♣ラストスパート
♣楽しい森口先生のご指導でした。解釈が深くそれをわかりやすく伝えてくださいました。(す)

♣第九は深いなあとあらためて感じた。うまく表現できたらいいなあ。聴いてくださる皆様に少しでも感動していただけるように歌うぞ。
♣今年の演奏会は父と母を天にあおいで歌うことになりました。しっかりやりたいです。(マッチャン)
♠2回目の森口先生指導、楽しかった。あと1週間がんばろう。
♠あと一週間。体調を整えて本番にのぞもう。(CHU)
♠いよいよです。お互い全力で頑張りましょう!

●編集後記

次回は**12**月**13**日(土)13:50〜21:40

森口先生の2回目のご指導を文字にしています。明日が公演の本番ですが、指導内容に目を通して一晩で頭に入れてください。その入れる量であすの出来栄えが決まります。みなさん半年間「第九」だよりを読んでいただき、ありがとうございました。私も体と喉の調子を整えて明日に備えたいと思います。いよいよ来年は節目の30年です。また6月にお会いいたしましょう。【munenori@**horita**.jp】